

補酵素型ビタミンB₂製剤

フラビタン®点眼液 0.05%

Flavitan® eye drops 0.05%

(フラビンアデニンジヌクレオチド点眼液)

貯 法：遮光、室温保存

使用期限：外箱に表示の使用期限内に使用すること。

注 意：開封後1ヵ月経過した場合は、残液を使用しないこと。

| | |
|-------|---------------|
| 承認番号 | 21700AMX00150 |
| 薬価収載 | 2006年6月 |
| 販売開始 | 2006年6月 |
| 再評価結果 | 1979年2月 |

【組成・性状】

| | |
|-----------------|---|
| 成分・含量 (1mL中) | 日本薬局方・フラビンアデニンジヌクレオチドナトリウムをフラビンアデニンジヌクレオチド (FAD) として0.5mg |
| 添加物 | エデト酸ナトリウム水和物、ホウ酸、酢酸ナトリウム水和物、クロロブタノール、パラオキシ安息香酸メチル、パラオキシ安息香酸プロピル、氷酢酸 |
| 性状 | 無菌に製した黄色澄明な点眼液 |
| pH | 4.5～6.0 |

【効能・効果】

下記疾患のうちビタミンB₂の欠乏又は代謝障害が関与すると推定される場合
角膜炎、眼瞼炎

【用法・用量】

通常、1回1～2滴を1日3～6回点眼する。
なお、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

| | |
|-------------------|------|
| | 頻度不明 |
| 過敏症 ^{注)} | 過敏症状 |
| 眼 | 刺激性 |

注) 投与を中止すること。

2. 適用上の注意

点眼時：容器の先端が目には触れないように注意すること。眼周囲等に流出した液は拭きとること。

【臨床成績】

ビタミンB₂欠乏又は代謝障害が関与すると推定される角膜炎に対して本剤の有用性が認められている。¹⁾

【薬効薬理】

- ウサギの角膜切片の組織呼吸に及ぼすビタミンB₂の影響を検討した結果、FADは角膜の酸素消費能を増加させ組織呼吸を亢進したがリボフラビン及びFMN (Flavin mononucleotide・リン酸リボフラビン) では、このような作用が認められなかった。^{2,3)}
- ビタミンB₂欠乏ウサギの角膜中のビタミンB₂量は、FADの点眼により増加した。
また、ビタミンB₂欠乏ウサギに出現したびまん性表層角膜炎の症状は、FADの点眼により改善が認められた。⁴⁾

【有効成分に関する理化学的知見】

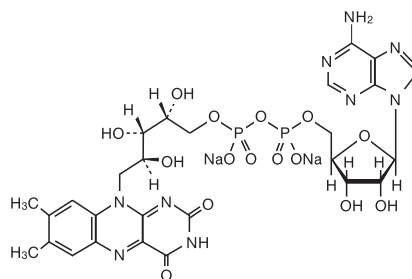
一般名：フラビンアデニンジヌクレオチドナトリウム (Flavin Adenine Dinucleotide Sodium)

化学名：Disodium adenosine 5'-[(2R,3S,4S)-5-(7,8-dimethyl-2,4-dioxo-3,4-dihydrobenzo[g]pteridin-10(2H)-yl)-2,3,4-trihydroxypentyl diphosphate]

分子式：C₂₇H₄₁N₉Na₂O₁₅P₂

分子量：829.51

構造式：



性状：フラビンアデニンジヌクレオチドナトリウムはだいたい黄色～淡黄褐色の粉末で、においはないか、又はわずかに特異なにおいがあり、味はわずかに苦い。水に溶けやすく、メタノール、エタノール(95)、エチレングリコール又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。
フラビンアデニンジヌクレオチドナトリウムは吸湿性であり、光によって分解する。

【包装】

フラビタン点眼液0.05% 点眼瓶入 5mL×10本入
5mL×50本入

【主要文献】

- 1) 深道義尚：FLAVITAN文献集(for the Ophthalmic Use) P. 7(1972)
- 2) 船津英裕：日眼会誌, 62, 1668(1958)
- 3) 船津英裕：日眼会誌, 63, 461(1959)
- 4) 篠塚清志：日眼会誌, 65, 1129(1961)

【文献請求先・製品情報お問い合わせ先】**

トアエー株式会社 信頼性保証部
** 〒330-0834 さいたま市大宮区天沼町 2-293-3
* 電話 0120-387-999

